Frontier Chemistry Center
フロンティア化学教育研究センター 講演会

演 題：粘接着機能改質用オリゴマーの開発
－企業における材料開発活動の一例－

講 師：佐々木　裕
東亞合成(株)　基盤技術研究所　所長

日 時：2013 年 11 月 5 日（火）15:30~17:00

場 所：工学部材料・化学棟中会議室（MC102）

要旨：

材料設計を行う際、分子レベルの nm の大きさからT m におよぶ各種スケールの事象がどのように影響を及ぼしあっているのかを推定することが重要であり、多面的な実験による各種評価を行うことで、実際に必要な材料特性と分子構造との関連を明らかにする必要がある。

東亞合成では、汎用高分子の大量生産のような大規模な事業ではなく、特徴ある材料の少量生産という形で製品開発を進めてきており、例えば、アクリル酸エステル類のラジカル重合による各種用途向けのポリマー等を製造してきている。この既存技術を発展させ、高温での無溶剤ラジカル重合による連続プロセスによるオリゴマー製造技術を開発している。

本講義では、企業における開発での特性設計の例として、スマートフォン等でなじみの深い「タッチパネル接着剤」の改質を、オリゴマーの添加により検討した例を題材として話題提供を行う。

連絡先：工学研究院生物機能高分子部門　佐藤敏文（内線：6606）